

平成24年度新体カテストの結果

1 調査の概要と調査協力校

(1) 調査の概要

① 調査の目的

県下の児童生徒の体力・運動能力の実態を把握し、今後の体育指導の改善及び基礎体力養成の資料とする。

② 調査の対象と人数

ア 小学校	1 ~ 6学年の男女児童	60校	19,007人
イ 中学校	1 ~ 3学年の男女生徒	40校	10,975人
ウ 高等学校	1 ~ 3学年の男女生徒	12校	5,756人
	総計	112校	35,738人

③ 調査協力校の抽出方法

ア 調査協力校の抽出

- 地域等を配慮して抽出する。
- 原則として、小学校は平成12年度、中学校は平成14年度以降に協力校指定を受けていない学校を選定する。
- 高等学校にあたっては、以前の順番を考慮して依頼する。

イ 各校における提出人数

- 各学校における提出調査人数は、原則として各学年男女全員とする。ただし、事情により全員提出できない場合は、相談に応じる。

④ 調査実施の期間

平成24年5月～10月

⑤ 調査の内容と方法

ア テスト項目

- 小学校1年～6年(6歳～11歳対象)

	項目		項目
1	握力	5	20mシャトルランテスト
2	上体起こし	6	50m走
3	長座体前屈	7	立ち幅とび
4	反復横跳び	8	ソフトボール投げ

- 中学校1年～高等学校3年(12歳～17歳対象)

	項目		項目
1	握力	5	20mシャトルランテスト又は、持久走のどちらかを選択
2	上体起こし	6	50m走
3	長座体前屈	7	立ち幅とび
4	反復横跳び	8	ソフトボール投げ

イ 実施について

文部科学省スポーツ・青少年局から示されている「新体カテスト実施要領」により実施する。

(留意事項)

- 事前に測定の意味や方法(特に新種目)を十分理解させ、実力が十分発揮できるように指導をする。
- 反復横跳びのラインの間隔は小学生・中学生・高校生ともに1mとする。
- ソフトボール投げのボールは1号球、ハンドボール投げのボールは2号球とする。
- 測定器具については、握力計の精度について留意する。

⑥ 集計処理

平成15年度から新体カテストの集計処理は、「新体カテスト集計システム」を活用し、長野県教育委員会事務局スポーツ課において行う。(平成23年度新集計システム更新)

(2) 調査協力校

① 調査協力校

	小学校(60校)	中学校(40校)	高等学校(12校)
東信	10校	8校	2校
南信	17校	13校	3校
中信	15校	8校	4校
北信	18校	11校	3校